

ふれあい記録

実施日：2024年7月18日

当番者：神谷 順子・船橋 エイ子

コース名：万葉からの古道「よこやまの道」

(通し番号 第197回)

天 候：曇り時々晴れ

参加者名：相川 勲、石井 公子、岩崎 宗郷、江口 正彦、小俣 悦男、熊谷 信雄、新海 昭、
田中 宏巳、鶴岡 重典、西村 寿文、船橋 エイ子、細矢 清志、宮原 宏至、和田 龍
子

(14名)

<ビジター> 斎藤 國男、野口 和夫、添田 純子、林 洋 (4名)

計18名 (内、男性14名、女性4名) (五十音順・敬称略)

交通：集合 小田急多摩線 唐木田駅 9時30分

往路：金沢文庫 7:43→上大岡 (乗換) ブルーライン 7:59→8:22 湘南台 (乗換) 小田
急江ノ島線 8:28→8:59 新百合ヶ丘 (乗換) 小田急多摩線 9:07→唐木田 9:17

復路：はるひ野駅 14:48 発でそれぞれ帰宅

コース：唐木田駅 9:40⇒小山田緑地分岐 10:00⇒Y字橋 10:20⇒10:47 中坂公園 (休憩) 11:08
⇒11:20 一本杉公園 (昼食) 12:27⇒13:30 防人見返り峠 13:45⇒諏訪が岳 14:00⇒はる
ひ野駅 14:30

みどころ：

- ・「横に長く連なる尾根のシルエット」・多摩丘陵は武蔵の国府 (府中) から眺めると横に長く連なる山々でした。夕暮れにはその姿がシルエットで浮かび「多摩の横山」、「眉引き山」とも呼ばれていました。
- ・尾根筋は、古代より武蔵野と相模野を臨める高台として、また西国と東国を結ぶ交通の要衝として活用され鎌倉古道、奥州古道、古代東海道が縦走・横断しその痕跡や伝説が語り継がれてきました。鎌倉武士団、巡礼者、新選組などが行き交ったと推測され、歴史とロマンを感じる事の出来る道となっています。

自然観察：

- ・あいにくの曇り空だったので眺望は期待外れでした。
- ・季節がらあまり多くの植物には出会えなかったが道端にヒルガオ、ヤマユリ、ボタंकサギ、シモツケが咲いていました。
- ・晴れていれば「防人見返り峠」から富士山や丹沢、秩父連山の山並み、西武ドームまで眺望出来るようです。

特記事項

- ・当日は危険レベルの猛暑でしたが水分補給、休憩を心がけて全員無事歩ききりました。
- ・今後は実施に当たり暑さも留意しなければと思いました。
- ・当日お当番の神谷さんがコロナ感染のため欠席でしたが皆さんの協力で無事完歩出来ました。